

企画展

発掘された日本列島2017



特別展

2017年NHK大河ドラマ

おんな城主 直虎 戦国!

# 井伊直虎から 直政へ

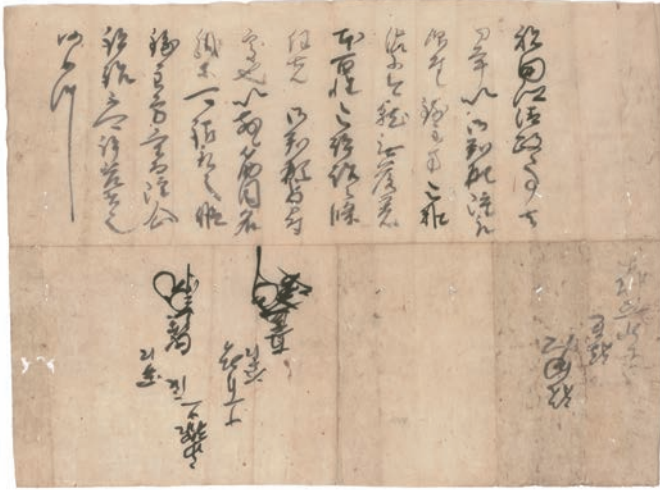
2017 NHK Historical Drama  
"Naotora: The Lady Warlord"  
"Sengoku! From *Ii Naotora* to *Naomasa*"  
Special Exhibition



2017年NHK大河ドラマ

おんな城主 直虎 戦国!

井伊直虎 直政へ



「直虎」の花押が入った唯一の書状

みどころ

浜松市指定文化財 井伊直虎・関口氏経連署状  
1568年(永禄11) 蜂前神社蔵  
浜松市博物館保管



井伊直親ゆかりの笛  
神社外で初公開

みどころ

浜松市指定文化財 青葉の笛  
戦国時代 寺野六所神社蔵

本展は、2017年NHK大河ドラマ「おんな城主直虎」と連動した展覧会です。江戸時代、井伊氏は彦根三〇万石の譜代筆頭の大名で、歴代当主は幕府の要職に就きました。なかでも幕末に大老として難局に立ち向かった井伊直弼は、ご存知の方も多いでしょう。しかし、戦国時代の井伊氏は苦難の連続でした。

波乱に満ちた井伊氏の歴史

井伊氏は遠江国(現静岡県)井伊谷を拠点としました。その周辺を、東に足利一門であった今川家、北に甲斐源氏の名門・武田家、そして西に次第に頭角をあらわしてきた織田家らを取り巻いていました。第一章「動乱を超えて―東海の戦国大名と井伊氏―」では、周辺の戦国大名ゆかりの作品を通して、東海地方の戦国時代を概観します。

続いて第二章「遠江の雄―井伊谷の領主として―」では、井伊氏の歴史を探ります。戦国時代の井伊氏は、今川家に従属しました。しかし、1560年(永禄

3)、桶狭間の戦いで今川軍に従軍した当主の直盛が討死し、その跡を継いだ直親は、謀反の疑いで殺害されます。家督を継げる一族の者たちが相次いで亡くなり、残されたのは、直親の幼子、のちの直政のみでした。一族断絶の危機に追い込まれた井伊氏は、直虎を直政の後見人とし、苦難の状況に立ち向かいました。

徳川家の繁栄を支えた四人の男たち

1575年(天正3)、成長した直政は、徳川家康の家臣に取り立てられました。当時、家康は桶狭間の戦いで今川家から独立を果たし、織田信長との同盟を後ろ盾にして、勢力拡大を図っていたのです。後に家康は、幾多の抗争を経て、天下統一を果たします。その背景として、有能な家臣団の大きな功績がありました。なかでも酒井忠次・本多忠勝・榊原康政・井伊直政は、のちに「徳川四天王」と称されるほど、合戦などで重要な役割を担いました。第

三章「徳川家康と四天王」では、直政とともに戦国の世を生き抜



井伊直政の太刀

みどころ

太刀 銘 来国光  
鎌倉時代 彦根城博物館蔵(井伊家伝来資料)

information

2017年NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」特別展  
戦国! 井伊直虎から直政へ

会期:平成29年7月4日(火)~8月6日(日)  
休館日:7月10日(月)、18日(火)、24日(月)、31日(月)  
開館時間:9:30~17:30  
(土曜日は19:30まで、7月21日(金)、28日(金)、8月4日(金)は21:00まで開館)  
\*入館は閉館の30分前まで

観覧料(税込)	特別展専用券	特別展・常設展共通券	特別展前売券
一般	1,350円 (1,080円)	1,560円 (1,240円)	1,140円
大学・専門学校生	1,080円 (860円)	1,240円 (990円)	870円
高校生・65歳以上	680円 (540円)	780円 (620円)	470円

\* ( )内は20名以上の団体料金。  
\* 次の場合は特別展観覧料が無料です。中学生以下。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付き添いの方(2名まで)。  
\* 前売券は4月4日(火)~7月3日(月)まで販売。  
\* 7月28日(金)はプレミアムフライデー割引(江戸東京博物館で15:00以降に特別展当日券を購入する方は100円割引)。  
◎ チケット販売場所:東京都江戸東京博物館、公式オンラインチケット(手数料無料/自宅発券・スマホ入場)、チケットぴあ(Pコード:990-968)、ローソンチケット(Lコード:31848)、e+(イープラス)、CNプレイガイド、楽天チケット、Yahoo!チケット、セブンイレブン(セブンチケット)、JTBエンタメチケット等で販売。  
\* 手数料がかかる場合がございます。  
\* 特別展・常設展共通券は東京都江戸東京博物館のみの販売となります。

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、NHK、NHKプロモーション  
協賛:日本写真印刷、ハウス食品グループ、ロート製薬  
特別協力:浜松市博物館

えどはくカルチャー特別展関連講座

- 井伊直虎・直政の時代~展覧会の見どころ~  
講師:杉山 哲司(学芸員)  
日時:7月13日(木)  
申込締切:6月28日(水)
- 直虎の時代の絵画  
講師:石上 充代(静岡県立美術館 上席学芸員)  
日時:7月20日(木)  
申込締切:7月5日(水)
- 中世井伊谷の景観  
講師:齋藤 慎一(学芸員)  
日時:7月27日(木)  
申込締切:7月12日(水)

\* 時間はいずれも14:00~15:30  
\* 往復はがきによる事前申し込み制となります。応募方法や受講料など詳細は、江戸東京博物館ホームページ、および館内配布チラシなどでご確認ください。  
<http://www.edo-tokyo-museum.or.jp>

フライデー・ナイトトーク

日時:7月21日(金)、28日(金)、8月4日(金)  
各日18:00~ 場所:1階特別展示室  
学芸員による展覧会の解説を行います。  
\* 特別展観覧券が必要です。

みどころ

猛将・本多忠勝の具足

重要文化財  
黒糸威胴丸具足  
安土桃山時代  
個人蔵(岡崎市寄託)



みどころ

戦場ではためく、井伊の旗印

朱地井桁紋金箔押旗印  
桃山時代 彦根城博物館蔵(井伊家伝来資料)



直虎が保った井伊家の命脈

1600年(慶長5)、直政は

関ヶ原の戦いにおいて生涯で最大の武功をあげ、徳川方の勝利に大きく貢献しました。戦後の論功行賞において直政は、敵将石田三成の居城であった佐和山城を与えられました。ところが、関ヶ原で受けた鉄砲傷が悪化し

た影響もあり、1602年(慶長7)、佐和山城で没しました。直政没後、その遺志は、息子である直継・直孝が引き継ぎ、直継は彦根城築城に着手し、直孝は大坂の陣で活躍しました。第四章 「遠江から近江へ」直政、彦根

藩創設への道程」では、彦根藩井伊家伝来の作品を中心に展示します。本展覧会では、直虎が存亡の危機に瀕した井伊氏を守り、直政が彦根藩井伊家の礎を築いた歴史を浮き彫りにします。困難

な状況の中、一人の人間が一族を守り、その後家が大きく発展していく物語をご覧ください。幸いです。(学芸員 杉山哲司)





TOPICS

特集展示

企画展

企画展「発掘された日本列島2017」  
地域展「速報」四谷二丁目遺跡―麴生産にみる江戸・東京―

6月3日(土)～7月23日(日)

日本列島の各地で毎年約8000件の発掘調査が行われています。この成果を文化庁が中心となつて企画し、全国を巡回している展覧会が「発掘された日本列島」展です。今年度は、発掘成果の速報展に加えて、特集1「復興のための文化力」、特集2「発掘された水中遺跡」で巡回する中核展が構成されます。江戸東京博物館会場のみ地域展は「速報」四谷二丁目遺跡―麴生産にみる江戸・東京―をお届けいたします。東京そして全国にまだまだ眠る文化財への理解を深めていただきたいと思います。



四谷一丁目遺跡の地下式麴室

information

「発掘された日本列島2017」

主催：文化庁、東京都、東京都江戸東京博物館、東京新聞、全国新聞社事業協議会  
協力：全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会、全国埋蔵文化財法人連絡協議会、  
公益財団法人元興寺文化財研究所、共同通信社  
後援：全国史跡整備市町村協議会

地域展「速報」四谷一丁目遺跡―麴生産にみる江戸・東京―

主催：東京都、東京都江戸東京博物館  
公益財団法人東京都スポーツ文化事業団 東京都埋蔵文化財センター  
協力：東京都教育委員会、UR都市機構

次回  
企画展

「徳川将軍家へようこそ」(仮)

会期：8月11日(金)～9月24日(日)

主催：東京都、東京都江戸東京博物館、公益財団法人 徳川記念財団

2004年(平成16)度以降、毎年、徳川記念財団と共同で実施してきた展覧会です。徳川将軍家に関する資料を、特定のテーマに基づいて紹介いたします。

TOPICS

特集展示

企画展

特集展示「東海道五拾三次展」

7月25日(火)～8月27日(日)

5階常設展示室  
「庶民の旅と祈り」  
「江戸の美」コーナー他



「東海道五拾三次之内 庄野 白雨」

天保中期 資料番号：08100046

歌川広重の保永堂版「東海道五拾三次」の主要作品と旅の道具などを通して、江戸時代の旅を解説します。



旅道具(右端から時計回りに、小田原提灯・早道・方位磁石・道中弁当箱・鯨枕・懐中燭台)

資料番号：89200273・89200263・89207572・89200269・89207525・89200270

TOPICS 1

えどはく寄席にお越しく下さい



昨年のおどはく寄席 講談による怪談の公演

常設展示室5階の芝居小屋・中村座の前で、季節ごとにイベント期間を設けて、落語・太神楽・邦楽など様々な伝統芸能の実演を行っています。日本の伝統芸能に触れる貴重な機会として、海外からお越しのお客様様からもご好評をいただいています。夜間特別開館実施日の金曜日の

夕方には邦楽ワークショップや落語による怪談を、土曜日の夕方には講談による怪談を行います。蒸し暑い夜、涼しい展示室内で、演奏や話芸をお楽しみください。

\*夜間特別開館については6頁をご覧ください。  
\*スケジュールの詳細は当館ホームページをご覧ください。

TOPICS 2

タブレット型解説端末で展示を9言語で解説しています



常設展示室のタブレット型解説端末

平成27年のリニューアル以来、常設展示室では83台のタブレット型解説端末により、各展示コーナーを様々な言語で解説してきました(日本語と英語は解説板に表示しています)。中国語(簡体字)・韓国語・フランス語・スペイン語の4言語でスタートし、昨年ドイツ語・ロシア語が加わって6言語に。そして、今春、中国語(繁体字)・イタリア語・タイ語が加わり、あわせて9言語をご用意しています。タッチパネルで言語を選択すると、各言語で展示の解説をお読みいただけます。江戸東京の歴史と文化



タブレット型解説端末の言語選択画面

をより深く知るためのツールとして、たくさんのお客様にご利用いただければ幸いです。

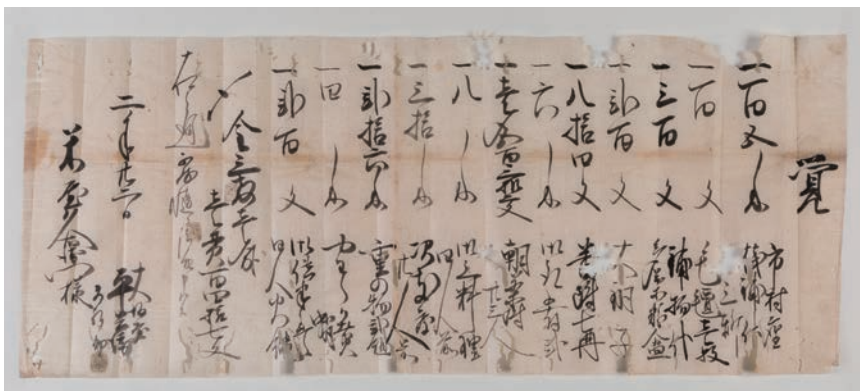


# 大名が歌舞伎を観たらハウマツチ？

都市歴史研究室 学芸員

市川寛明・文

あ  
る目的をもって古文書を読み進めていると全く予期せぬ別テーマの、それでいてかなり興味深い記録に出会うことがある。しかも得て



図版1 覚(市村座観劇代金領収書)  
1748年(延享5) 大坂屋平兵衛(米屋久右衛門宛) / 作成 資料番号:88209161

して偶然見つけた記録の方が探求していた本題よりも断然面白かったりする。今回紹介するのも偶然見いだした逸品である。

まずは図版1をみていただきたい。表題に「覚」とあるこの古文書は、現在の人材派遣業に似た人宿(ひとやど)を家業とする米屋田中家の帳簿「延享四年正月吉日より記録」(米屋田中家文書88209161、以下「記録」)を読んでいた時、その丁合から見つけ出したものである。冒頭に「一、百五匁市村座棧敷」とあり、末尾に「金三両壹分ト壹貫百四拾七文」、「慥ニ請取申候」とあることから、この史料が江戸三座のひとつ市村座で歌舞伎を観たときの代金の領収書であることがわかる。また差出人の大坂屋の下に押された墨印が、この領収書が写ではなく本物であることを示している。

この領収書の内容を一覧すると表1のようになる。棧敷に毛氈・敷物・たばこ盆、配役などが記された番附、酒と蛸(たこ)のやわらか煮などの肴(さかな)が列記

項目	単価	数量	金額
1	棧敷	35匁	3間 銀105匁
2	毛氈	100文	1枚 銭100文
3	敷物代・たばこ盆		銭300文
4	大銅子(壺)		銭200文
5	番附	12文	7冊 銭84文
6	御取肴	3匁	2人前 銀6匁
7	朝茶漬		23人前 銭1532文
8	御上料理		4人前 銀8匁
9	次支度	1.5匁	20人前 銀30匁
10	重の物	13匁	2組 銀26匁
11	蛸やわらか煮		銀4匁
12	御供半量・四人火縄		銭200文
合計			金3両1分+銭1147文(史料値)

表1 市村座歌舞伎観劇経費請求書内訳

されており、その金額・内容ともに興味が尽きない。これだけでも貴重な記録といえるが、この史料の価値をさらに高めているのがこの「記録」に書き留められた関連情報である。図版を掲載できなかったのが残念であるが、その記載によつてこの領収書の年代と作成経緯が判明する。「辰二月廿三日」とあることから年代は延享五年(二七四八)。したがつて市村座の演目は、初代坂東彦三郎、大谷鬼次が出演した「紋尽名護屋曾我」。作成経緯は概ね次のようである。人宿米屋が日頃出入りしているお得意様、丹波

国山(くによま)家藩(はん)谷(や)家の「御奥様并御娘様」の「御ねたり」をうけ、芝居茶屋大坂屋に棧敷席と酒肴を発注したことがわかる。

興味深いことに米屋の帳簿には、この時の代金を谷家から請け取った記録が見当たらない。恐らく米屋はこの時の観劇経費を一旦立て替え、本業である武家奉公人の派遣代金に上乘せしめて請求・回収したのであろう。米屋は営業の場として市村座を使ったことになり、これも当時の商慣行の一端を示すものといえよう。芸能史と商業史、その両面から実に面白い史料である。



# Information

図書室から  
お知らせ

## 特別展 『戦国！井伊直虎から直政へ』 関連図書コーナー

図書室では、特別展「戦国！井伊直虎から直政へ」（7月4日～8月6日）開催期間中、関連する図書を集めた特集コーナーを設けます。直虎や井伊家はもちろんのこと、当館で平成28

年度に開催された特別展「真田丸」をはじめ、過去の展覧会図録は全てそろっていますので、同じ戦国時代を扱った展覧会がどのような切り口で展示されたのか、比べてみるのも面白いでしょう。それ以外にも、



『戦国大名論集』全18巻（吉川弘文館刊）など、武将たちについての研究書や雑誌の特集号、さらに、近頃、幅広い層から注目を集めている刀剣や甲冑に関する図書もご覧いただけます。展覧会とあわせてぜひお立ち寄りください。  
企画展「発掘された日本列島2017」（6月3日～7月23日）関連図書コーナーも同時に設けています。

### 「夏休み! こども歴史学習相談」開催!

7月15日(土)～9月3日(日)

「徳川家康について調べるには?」「江戸でリサイクルされていたものを調べるには?」など、江戸東京の歴史に関する疑問解決に役立つ本をご紹介します。夏休みの自由研究に、ぜひ図書室をご活用ください(質問者の代わりに調べる、解答することはできませんのでご了承ください)。

場所: 7階図書室 開室時間: 9:30～17:30

閲覧・複写請求受付時間: 9:30～11:30、13:00～16:30

\*利用について、詳しくは当館ホームページをご覧ください。



## 夜間特別開館

17:30～21:00の入館・ご利用でお得な特典!

7月21、28日、8月4、11、18、25日の金曜日は21時まで開館

特典1 | 常設展は学生無料 学生証提示

特典2 | 常設展は一般、65歳以上は2割引

特典3 | 江戸東京博物館チケット(常設展・特別展)提示でレストラン・カフェ割引(5%～10%)

\*「緑茶処 両国茶ら良(さらら)」は21:00まで、  
「和食処 桜茶寮」「フィンズカフェ&レストラン」は19:00まで

\*映像ホール、映像ライブラリー、図書室を除く。

\*ミュージアムショップの営業については館ホームページをご覧ください。

\*入館は閉館の30分前まで。

金曜の夜は  
江戸博へ!



江戸東京博物館公式キャラクター  
ギボちゃん





屋根の手前側、明るい色の部分が今回葺き変えた部分

丸二商店、化粧直し完了！  
たてもの園に移築されている「丸二商店」は、昭和初期に現在の千代田区神田神保町に建てられた荒物屋です。1998年(平成10)に小金井の地にやってきました。これまで80〜90年のあいた風雪に耐えてきたのですが、劣化が見られるようになりました。そこで、屋根の一部を造り替えて雨水の流れを変え、柱の腐朽部分を新しいもので補修し、緊急の修繕工事を行いました。見た目は極力そのままにして、傷んだ部分を修繕するために、伝統の技と現代の技術を融合することによって、丸二商店のお化粧直しが完了しました。



丸二商店(江戸東京たてもの園)

催し物のご案内

夏期ふれあい体験教室

●いずれも参加無料(常設展示室内で開催の教室は観覧券が必要) ●講師:ふれあいボランティア

事前応募制教室

場所/歴史散歩以外は1階会議室

●歌舞伎の化粧をしてみよう(子供向け)

日時:7月23日(日) 13:30~15:30  
対象:小3~中学生 定員:20名  
締切:7月8日(土)



●江戸切子体験教室

日時:7月28日(金) ①13:30~14:45 ②15:00~16:15  
7月29日(土) ①10:45~12:00 ②13:30~14:45  
特別講師:川井更造(江戸切子士)  
対象:小4以上 定員:各回11名 締切:7月14日(金)

●親子工作教室「からくり玩具・はしこくだりを作ろう！」

日時:7月30日(日) 13:30~15:30  
対象・定員:小3~6の親子16組  
(1組の親子で1つ作ります)  
締切:7月15日(土)



●浮世絵摺り体験教室

日時:8月20日(日) 12:30~15:00  
特別講師:松崎啓三郎(摺師)  
対象:小5以上 定員:20名 締切:8月5日(土)

●歴史散歩「大手門から半蔵門〜桜田門まで内堀を巡る〜」

日時:9月10日(日) 13:00~16:00 対象:一般 定員:20名  
締切:8月26日(土) \*荒天時は9月17日(日)に順延

お申し込み方法

往復はがき(62円×2=124円)に住所、氏名、ふりがな(2名様まで)、年齢、電話番号、希望講座名(江戸切子は希望日、時間)を明記の上、下記へ(締切日消印有効)

〒130-0015 東京都墨田区横網1-4-1

江戸東京博物館 ボランティア事務局 ふれあい体験教室係

当日受付教室

場所/表記がない場合、常設展示室5階ミュージアム・ラボで開催

●藍色のてるてる坊主を作ろう

日時:7月1日(土) ①13:00~13:20 ②13:25~13:45 ③13:50~14:10  
対象:小学生以上 定員:各回20名 \*12:50~会場で整理券配布

●和算パズル

日時:7月8日(土)、9月2日(土) 13:00~15:30(受付終了15:00) 対象:小4以上

●反古紙で小物を作ろう

日時:7月8日(土)、9月2日(土) 13:00~15:30(受付終了15:00) 対象:小学生以上

●ときめきユカタ体験

日時:7月15日(土)、8月27日(日)  
10:30~12:00(受付終了11:30)  
対象:3歳以上 定員:25名程度



●歌舞伎の鳴り物を鳴らしてみよう

日時:8月26日(土) ①12:00~12:30 ②13:30~14:00  
対象:幼児~一般

●秋の藍の建て染め体験

日時:9月9日(土) 12:30~14:30  
対象:小学生以上~一般 定員:50名  
場所:3階江戸東京ひろば 北側休憩所  
\*12:20~会場で整理券配布  
\*荒天などによるひろば閉鎖時は中止となります。



●万華鏡で遊ぼう

日時:9月9日(土) 10:30~12:00(受付終了11:30) 対象:小3以上 定員:15名

●三越双六で遊ぼう!

日時:9月24日(日) ①13:30~ ②14:00~ ③14:30~  
対象:3歳以上 定員:各回4名 場所:常設展示室5階、モダン東京コーナー三越双六前

ミュージアムトーク

●常設展示室の見どころを学芸員が解説します。 ●日時/毎週金曜日 16:00から  
●常設展示室5階の日本橋下までお集りください。所要時間は約30分です。

地域展「速報」四谷一丁目遺跡一麹生産にみる

江戸・東京一みどころ 7月7日、14日、21日

特集展示「東海道五拾三次展」みどころ 7月28日、8月4日

企画展「徳川将軍家へようこそ」(仮)みどころ 8月11日、18日、25日

関東大震災 9月1日

モダン東京 9月8日、15日

江戸の美 9月22日、29日

江戸東京博物館 NEWS Vol.98

お問い合わせ 03-3626-9974(代表)

ホームページ <http://www.edo-tokyo-museum.or.jp>

来館のご案内 JR総武線「両国駅」西口から徒歩3分、東口から徒歩7分  
都営地下鉄大江戸線「両国駅(江戸東京博物館前)」A3・A4出口から徒歩1分  
都バス錦27・両28・門33系統 墨田区内循環バス南部ルート「都営両国駅前(江戸東京博物館前)」下車、徒歩3分

発行日 2017年(平成29)6月23日(金)  
編集・発行 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館  
〒130-0015 東京都墨田区横網1-4-1  
制作・印刷 美術出版社 デザインセンター

表紙解説



滋賀県指定有形文化財  
朱漆塗紺糸威縫延腰取  
二枚胴具足  
桃山時代〜江戸時代初期  
彦根城博物館蔵  
(井伊家伝来資料)  
彦根藩井伊家二代・直孝  
所用と伝える具足。全身を  
朱漆塗とし、典型的な「井  
伊の赤備え」の形式です。  
兜の側面に長大な天衝が  
据えられています。



豊田市指定文化財 長久手合戦図屏風(浦野家旧蔵)  
江戸時代 豊田市郷土資料館蔵  
1584年(天正12)、羽柴秀吉と織田信雄が織田信長の後  
継をめぐる争った戦いを描いています。この戦いで井伊直  
政は先鋒として武功をあげ、六万石の加増を受けました。